

2012年4月1日～2023年3月31日の間に当院リハビリテーション科高次脳機能障害外来を受診した方及びご家族の方へ

### 「高次脳機能障害外来における小児支援の現状と課題」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター	言語聴覚士	八木真美
研究分担者	川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター	言語聴覚士	宮崎彰子
	川崎医科大学リハビリテーション医学	准教授	平岡 崇
	川崎医科大学リハビリテーション医学	教授	花山耕三

## 1. 研究の概要

高次脳機能障害のお子さんの支援では、社会復帰が学校という限られた場となり、取り巻く環境である医療機関/学校/家庭における障害の理解と連携が重要となります。当院は「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業」における拠点機関として、高次脳機能障害外来を開設し、小児の医療支援、復学支援も積極的に行っています。支援を行った高次脳機能障害児の経過と帰結について調査します。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2012年4月1日～2023年3月31日の間に当院リハビリテーション科高次脳機能障害外来を受診した18歳以下のお子さん40名の方を研究対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日までです。

### 3) 研究方法

2012年4月1日～2023年3月31日の間に、当院リハビリテーション科高次脳機能障害外来において支援を受けられた18歳以下の方について、研究者が診療情報をもとに、帰結状況について調べ、診断や症状、支援内容に関する分析を行います。

### 4) 使用する情報の種類

情報：病前の生活状況、性別、年齢、疾患、発症から外来受診までの期間、入院および外来リハビリテーションを受けた期間、脳損傷部位と程度、高次脳機能障害の症状、当院以外の支援機関介入の有無、家族状況、休学期間、学校での問題点、学校との連携、進学状況、就職状況、神経心理学的検査結果、障害者手帳の有無、等

### 5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院リハビリ

ーションセンター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなた、もしくは保護者のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたもしくは保護者が希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは保護者、代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター

氏名：八木真美

電話：086-462-1111 内線 22820（平日 8時30分～17時）

#### 3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。